

# フジパンググループ Presents 2017 ロバパン CUP

## 第49回全道（U-12）サッカー少年団大会

2017/7/28～31

### 準決勝（Aコート）

エスピーダ旭川 3（1-0、2-0）0 青葉・芦野・美原 釧路ドリームFC

準決勝 A コートは、予選・トーナメントを通じて多くの得点を重ねて勝ち進んできたエスピーダ旭川と、PK 戦勝ちも含めて接戦を制して準決勝に進出した釧路ドリーム FC との対戦となった。朝まで降り続いていた雨で多少スリッピーなピッチではあるが、前日までの暑さは和らぎ、選手にとっては力の発揮しやすい気温での試合となった。



#### 【前半】

9:00、釧路ドリームのキックオフで試合開始。2-4-1のエスピーダと、3-3-1の釧路ドリーム、お互いに様子をうかがう立ち上がり。前半2分、最初のチャンスはエスピーダ、サイドを突破した⑥からのクロスをもFW⑤が中央で合わせるがゴール上に外れる。前半6分、エスピーダ⑩がサイドを突破して得た左からのCK、⑤が蹴ったボールが直接ゴールに入り、エスピーダが先制する。エスピーダは中盤⑩と③がボールをキープしながら、サイドに展開して再三チャンスを作る。釧路ドリームはCB⑩を中心に守りながらFW⑨を狙い反撃を試みる。エスピーダが押し気味に試合を進め、CKも数多くありながら、釧路ドリームも粘り強く守り、膠着状態が続く。エスピーダは選手交代でフレッシュな選手を多く投入、高いテクニックで攻撃の時間を長くする、対する釧路ドリームは中央⑩⑨⑪を中心に押され気味ながらも0-1で前半を終え、後半の反撃を狙う。



#### 【後半】

ハーフタイム、選手同士で確認しあうエスピーダと、監督の指示に熱心に耳を傾ける釧路ドリーム、各々のスタイルで後半への準備を進める。

後半はエスピーダのキックオフ、後半開始早々の2分、エスピーダが右CKから⑩が中央で合わせたシュートはゴール左隅に決まり追加点を奪う。続いて後半7分、エスピーダ⑪が中央を突破、GKも交わしてゴールを決め、3-0とする。釧路ドリームはFW⑨のスピードをいかして裏へのボールを供給するが、エスピーダCB二人がチャレンジ&カバーでピンチを防ぐ。釧路ドリームが粘り強く守りながらカウンターを中心に逆転を狙ったが、エスピーダが足元の技術とコンビネーションをいかして試合の主導権を握り続け、3-0で勝利をおさめ、決勝へ駒を進めた。



（文責 （一社）札幌地区サッカー協会四種技術委員 川内 悠平）

## 準決勝 (Bコート)

### 北海道コンサドーレ札幌 U-12A 1 (1-0、0-0) 0 クラブフィールズ U-12

2017 ロバパンカップも最終日を迎え、準決勝と決勝を残すだけとなった。Bコートで行われる準決勝は北海道コンサドーレU-12 A VS クラブフィールズ、開催地札幌同士の対戦になった。

#### 【前半】

コンサドーレのキックオフで試合開始。

コンサドーレは開始から⑰を中心にサイドにボールを運び、相手を揺さぶるように主導権を握る。2分には⑰のスルーパスを⑱が受けてシュートまでいくが相手GKの好セーブに阻まれ得点には至らず。なかなか相手陣地に入り込めないクラブフィールズだが5分、右サイドを起点に⑱がシュートに持ち込む。これを機に右サイドからの攻撃が増えるが得点には至らず、追いつくことはできない。この後、ボールを動かすコンサドーレの攻撃をカウンターで狙うクラブフィールズ。互いに譲らず前半半分を経過する。



ゲームが動いたのは14分、センターサークル付近でコンサドーレ⑱から⑰へ、⑰がゴール前にいる⑨へスルーパス、⑨が落ち着いてゴール右隅に決めて先制。これで勢いに乗ったコンサドーレの猛攻が続く。18分には左サイド抜け出した⑨からGKを外す絶好の横パスを⑩が外してしまい追加点を奪えない。点差変わらず前半終了。

#### 【後半】

後半も開始からピッチを広く使うコンサドーレがボールを保持する時間が多い。しかし、若干足が止まりつつあるためフィニッシュまでは持っていけない。そこをクラブフィールズ⑱を中心にスピードあるカウンターでゴールに迫る。前半4分左サイドをコンサドーレ⑨が受け、⑩へ横パス、さらに右から駆け上がってきた⑳へパスと流れるパスワークから㉑がシュートを打つが追加点ならず。



優勢にゲームを進めるコンサドーレだが不用意なファールからフィールズにセットプレーのチャンスを与えるシーンが増える。13分にはペナルティエリア付近で絶好のフリーキックを得たクラブフィールズ。キッカーは⑲だったが惜しくも右隅に外れる。その後も⑲が突破するがごとくコンサドーレ⑤にシャットアウトされる。



1-0、スコアが変わらないまま試合終了。北海道コンサドーレ札幌 U-12A が決勝へコマを進めた。

(文責 (一社)札幌地区サッカー協会四種技術委員 堀井 健仁)

## 決勝 (SSAP 天然芝)

### エスピーダ旭川 2 (1-1、1-0) 1 北海道コンサドーレ札幌 U-12A

選手の保護者、大会関係者を中心に、応援するたくさんの方々に見守られた SSAP 天然芝グラウンド。今大会もいよいよ最後の試合、対戦はエスピーダ旭川 vs 北海道コンサドーレ札幌 U-12A。春のチビリンピック北海道大会決勝と同じカードとなった。決勝戦らしい素晴らしい雰囲気の中、キックオフの時を迎えた。

#### 【前半】

11:30、コンサドーレのキックオフで試合が始まる。エスピーダは2-4-1、コンサドーレは3-2-2。お互いにサイドを起点にチャンスを作る。最初のビッグチャンスはエスピーダ、右サイドを抜け出したFW⑤がDFをふりきりシュートをうつが、コンサドーレ GK がセーブ。このチャンスから流れが



エスピーダ、4枚の中盤で人数をかけてセカンドボールを拾い連続攻撃をしかけるが、コンサドーレは長身CB⑤を中心に防ぐ。この勢いを押し返したコンサドーレは前半6分、FW⑨が混戦から抜けだし、左足で先制点を挙げる。ここから流れはコンサドーレ、前半7分、MF⑱がサイドを突破してライン際を粘りマイナスで



折り返したボールをフリーの⑳がシュートをうつが、惜しくもクロスバー。流れにのるコンサドーレは⑩がミドルシュートでエスピーダゴールを脅かす。コンサドーレはエスピーダのDF2枚の横のスペースを狙い、⑩、⑨、⑰がシュートを放つ。エスピーダはドリブルを中心にカウンターをしかけ、

⑳が惜しいミドルシュート、右CKから⑩が合わせるがわずかに合わず。やや押されていたエスピーダだが、前半16分、中盤の競り合いからボールをキープして左サイドに展開、⑪が相手SBをふりきりマイナスのボール、走りこんできた⑩がゴール右隅に流し込み同点においつく。対するコンサドーレは⑩が中盤からもちこみミドルシュートをうつがGKが防ぐ。続けて前半19分、コンサドーレが中盤でボールをキープした⑰が



サイドにスルーパス、⑨が抜け出すがエスピーダDFも必死に防ぐ。エスピーダはMF⑩、サイド⑪がドリブルで突破してチャンスをつくり、コンサドーレはFW⑨、⑩、MF⑰を中心にゴールに迫り、お互いに攻めあう見ごたえのある展開、1-1のまま前半終了。



#### 【後半】

前半途中から降り始めた雨で濡れたピッチに、気持ちを再度高めた両チームが元気よくひろがる。エスピーダのキックオフで試合が始まる。後半最初のチャンスはコンサドーレ、⑩がDFと競り合いながらシュートを放つがゴール左に外れる。3分、コンサドーレはCKから



⑤が合わせるがゴール右に外れる。対するエスピーダ、右サイド⑨がライン際で粘りクロスボールをあげて⑦があわせるがミートせず。7分、中盤でボールを持ったエスピーダ⑩が左足でミドルシュート、インフロントにかかったボールは見事にゴール左上隅に決まり、エスピーダが逆転に成功する。攻勢に出るエスピーダは右サイドを⑪、⑨が突破、⑩を中心に中央であわせる



形でチャンスをつくり、コンサドーレは⑤を中心にゴール前でなんとか守る。10分、左サイドでボールをもったエスピーダ⑪が軽やかなステップでDFラインの間を抜け出しGKと1vs1を迎えるがコンサドーレGKがファインセーブ。コンサドーレは奪ったボールを前に運ぼうとするが、セカンドボールに対するエスピーダの反応が速く、チャンスになかなか結びつかない。一方、エスピーダはコンサドーレDFライン裏に⑨、⑪が何度も抜け出し、シュートチャンスを迎えるが決めきれない。



終了間際の20分、コンサドーレはDFラインでインターセプトしたボールを一気に前にカウンター、数的優位の決定的なチャンスを迎えるがシュートは枠を外れてしまう。最後のピンチを何とか凌いだエスピーダ、ここで歓喜のホイッスルが鳴る。



両チーム、力強い攻撃、粘り強い守備、非常にスピーディーで見ごたえのある攻防が繰り広げられた決勝戦は、エスピーダ旭川が北海道コンサドーレ札幌Aをふりきり、優勝を飾った。

(文責 (一社)札幌地区サッカー協会四種技術委員 川内 悠平)



【集合写真提供 LSIN 北海道】